

平成 30 年度

1. 目標

- **研究Ⅰ**:心身機能検査（約 600 名）の測定会を実施し、認知症疑い者延べ約 280 名（測定者数計 1,400 名）を早期発見する。健常群と認知症疑い群を比較し、自宅生活維持の要因について分析する。
- **研究Ⅱ**:認知症疑い者延べ約 280 名に対して多世代交流型の認知症予防プログラム介入を実施する。
- **研究Ⅲ**:前年度に引き続き認知症カフェを 20 ヶ所開設を働き掛ける（計 40 ヶ所）。40 ヶ所（1 ヶ所 10 名程度を想定）の家族介護者約 400 名を対象に、家族支援プログラム介入を実施する。
- **研究Ⅳ**:前年度に引き続き地域認知症支援員講座を 4 回実施し、地域認知症支援員として約 50 名のボランティア登録（計 100 名）を目指す。また、登録者を研究Ⅱ、Ⅲに参加させる。

2. 実施計画

- **研究Ⅰ**:前年度と同様に実施する。
- **研究Ⅱ**:多世代交流型の認知症予防プログラムは、地域住民が徒歩で通うことができる公民館を利用して週 2~4 回実施する。公民館の庭にミニ農園を作ったり、Web を活用した遠隔講座によりプログラム実施日以外にも公民館で活動する習慣づけを行う。
- **研究Ⅲ**:40 ヶ所の認知症カフェ等にて家族支援プログラムを実施する。プログラムは介護スキルアップのための座学・実習と、園芸等の創作活動やハンドマッサージ等の活動体験を通して、介護力の向上とストレスの改善効果を図る。
- **研究Ⅳ**:地域認知症支援員講座を受講したボランティアに、研究Ⅱ、Ⅲの参加を促し、認知症疑い者や家族介護者との交流を通して、その支援スキルを学ぶ。